



# 石動山二宮道砦



雑木林の中に残る横堀

所在地：石川県鹿島郡中能登町石動山

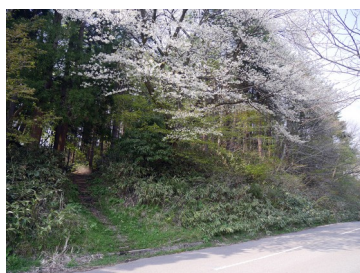
立地：尾根頂部、標高464m

城主：石動山天平寺

時期：戦国

見学時間（参考）：20分～40分

石動山七口ののひとつ、二宮道が砦直下を通る。二宮道は能登口表参道とされ、二宮川支流の谷筋に沿って登り、七曲りの急坂を経て杓子ヶ峠を越え、尾根道を行ったところに石動山の山内と山外の境界を示す庚申塚の板碑が建っている（板碑は現在消失）。その庚申塚の辺りに二宮道砦が占地する。



二宮道の北側丘陵部に砦が築かれている

主郭は二宮道に面して高さ10mの高切岸で防御力を高めている。主郭の山外方向（西）に横堀や堀切を設けるが、平坦部は少なく自然地形に近い。砦は石動山境界に築かれており、山内への敵軍の進攻を防ぐことを目的とした関所のような施設と考えられている。「石川県中世城館跡調査報告書」では二宮道の北側丘陵部を砦の範囲として示しているが、墓地のある南側丘陵部にも山外方向に横堀が見られ、二宮道を両側から挟み込み、攻め上がってくる敵軍をせき止めるように築かれていたのではないかと考える。



付近の二宮道に石敷が残る

天正10年（1582）6月、本能寺の変の混乱を利用して、畠山旧臣の温井氏・三宅氏ら上杉方が能登奪還を図り、石動山衆徒とともに荒山城や石動山に立て籠もる。この時対立していたのが、織田方の能登領主前田利家で、石動山七口では能登に通じる二宮道、多根道、荒山道が防御を固める



二宮道沿いの高切岸、上部が主郭



対象になったと推測される。二宮道砦の防御施設はこの時期を含む16世紀後半の様相が見られる。



二宮道の南側にも横堀が残る

いしかわ城郭カードに関する最新情報・お問い合わせ  
北陸城郭プロジェクト（フリー・スタイル有限会社）  
〒929-0335 石川県河北郡津幡町井上の荘3-9  
TEL. 076-204-6046 FAX. 076-289-3943  
E-MAIL. contact@j-sampo.com  
ホームページ城郭さんぽ <https://www.j-sampo.com/>